

弘前大学次世代研究者挑戦的研究プログラムキャリア開発・育成コンテンツの提供

* 各種支援事業について公募内容を検討中（以下、参考）

1. 海外留学

留学先の研究環境に触れることで、グローバルな視野、語学力、コミュニケーション能力、リーダーシップ力の向上、新しいアイデア、イノベーションの創出及びアントレプレナーシップの涵養を図る。

2. ジョブ型研究インターンシップ

本学と産業界が協力して実施する長期・有給・ジョブ型のインターンシップを行う。大学院共通科目「ジョブ型研究インターンシップ実習」として開講しており、評価により2単位付与される。なお、インターンシップの成果は、企業が適切に評価し、採用選考活動に反映することが可能である。

3. 共創企業インターンシップ

COI-NEXT 事業、東北半導体コンソーシアム参加企業向けに、ジョブ型研究インターンシップを行う。

4. 学術研究支援室インターンシップ

インターンとして本学学術研究支援室（旧 URA 室）の URA から業務を学ぶ。具体的には、現職の URA と共にさまざまな部局の教員にインタビューを行い、シーズの調査・掘り起こし、企業からのニーズとのマッチングなどを体験する。さらに、本学が契約している InCites Benchmarking を活用し、本学の研究のどこに強みがあるか分析した上で、学生がインタビューする教員を選び、単独でインタビューを行う。単独インタビューの結果は、シーズ集としてまとめる。

5. 数理・データサイエンス・応用基礎プログラムを活用した AI スキルの習得と実践

数理・データサイエンス応用基礎プログラムの応用基礎レベルの科目である「データサイエンス(以下、DS)発展Ⅰ」と、その展開科目である「DS 発展ⅠⅠ」「ビジネス DS」を履修する。

「DS 発展Ⅰ」は AI 活用力・プログラミング力未修得の学生、特に理工系学生は必修とする。

「DS 発展ⅠⅠ」「ビジネス DS」は、各自の研究課題の解決能力の修得を目指す学生の履修を推奨する。

6. 異分野交流学際ワークショップの企画および実施

従来の SPRING で本学研究推進部の企画で実施した「異分野交流学際ワークショップ」を、選抜学生自身による企画・運営・宣伝・集客の全てを学生が行う。話題提供者や各回のテーマは学生が自由に選ぶが、受給者には、受給期間中最低 1 回は話題提供者となることを義務付ける。話題提供者は学内に限定せず、予算の範囲内で学生が話を聞きたいと思う研究者を他大学や企業等から招聘することや、オンラインを活用して、海外の研究者を話題提供者とすることも可能とする。

7. テニユアトラック助教採用

博士後期課程を修了した優れた若手研究者に対するテニユアトラック制度である。具体的には、本学の博士課程を修了した優れた若手研究者をテニユアトラック助教として 3 年間採用し、中間審査の結果により、最大 2 年これを更新するものである。テニユア教員には、テニユア獲得のためのアドバイス、教育研究およびマネジメント能力向上等のための指導・助言を行うメンターを配置する。

* 複数への公募は可とするが、その場合でも 1 名あたりの申請する総額の上限額は 30 万円とする。